

中学部

舞台発表『魔女の宅急便』

A1グループ

今年度の中学部は児童文学、映画で広く知られる『魔女の宅急便』に挑戦しました。主人公が悩み、成長する物語を、同世代の生徒の皆が協力して演じました。



A2グループ

トンボが飛行機の動力部を紹介する場面と絵描きのウルスラが絵を披露する場面を演じました。台詞を覚え、自信をもって発表に臨む姿がとても素晴らしかったです。

ウルスラの描いた絵は、大きなキャンバスに学部の皆で描きました。



Bグループ

物語の冒頭、3つの場面を担当しました。夏休み明けの9月からセリフと演技を覚えていました。友達と前後で被らないように、また、客席に背中が向かないようにするための角度などたくさん苦労しました。本番までにセリフをしっかりと覚え、見事に演じきました。



Cグループ

ラジオDJ役と歌手役として、それぞれの持ち場で劇を支えました。ラジオDJ担当の生徒はセリフの読み方の工夫や、場に応じた効果音を選びました。また、歌唱シーンを担当した生徒は、歌う時の表情や、衣装変化の演出などを考えて行い、それぞれ主体的に取り組みました。



<時計塔と飛行船>



<飛行機の動力(大型扇風機)>